

委員各位

第393回産業事情検討会のご案内

第393回の産業事情検討会を以下の通り開催致します。

当案内状と共にEメールによるご案内も送信しております。同封の葉書またはFAX、あるいはEメール、下記QRコードのいずれかで出欠の有無をご連絡頂きますようお願い申し上げます。

テーマ：流通産業の展望－再編と業態変革の行方

講師：並木雄二氏
法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授
並木経営研究所 代表取締役

司会：大塚寿広（株）現代経営技術研究所 主任研究員

日時：2024年11月25日（月） 15：00～17：00

開催方式：Zoomによるオンライン開催

今回は並木雄二氏をお招きして「流通産業の展望－再編と業態変革の行方」と題して検討を進めます。

第I部は、流通業の経営について業態別の現状分析を行います。氏はGMSの消滅は不可避であるとして「イオンモールでさえ自前のGMS業態を生きさせ続けることはできないだろう」と語ります。百貨店、SM、コンビニ、ドラッグストア等の有力企業群の成長戦略と現状の問題点を解き明かします。

第II部は、現在、アリマントーション・クシュタール社から買収提案を受けているセブン&アイグループの現状について分析し今後の可能性を予測します。

第III部は、第I部、第II部を踏まえて、流通業界の未来地図を描き、予想される再編とeコマースがさらなる進展を遂げる環境下での生存適応の帰結としてたどり着くビジネスモデルを提示します。そしてそこに向かうために日本の経営はどう変わらなければならないかについて検討します。

皆様の是非のご参加をお勧めします。

- I. 業態変革の進行とその展望－百貨店、GMS、SM、コンビニ、ドラッグストア等の構造変化の加速
- II. セブン&アイグループの現状と今後の可能性
- III. 流通業界の未来地図－日本の経営はどう変わらなければならないか
- IV. 質疑応答

<講師紹介>

法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授。同研究科中小企業診断士養成課程委員長。税務大学校にて中小企業診断士の講義を担当。1981年、株式会社セブン・イレブン・ジャパン入社。1993年に独立して経営コンサルタントとして活躍。2010年より現職。教授職就任後も大手流通業を中心に経営指導、人材育成を展開。総務省、国税庁、沖縄県産業振興公社、経済産業省等のプロジェクトの委員、人材指導職等を歴任。並木経営研究所代表取締役。



現研 (株)現代経営技術研究所